



風水害

豪雨や台風などは、到達時期や規模などを予測できる場合があります。日頃から気象情報に注意し、十分な対策を立てておきましょう。

！ 集中豪雨・強風

「集中豪雨」は、狭い範囲に大量の雨が降る現象です。夕立の時のような激しい雨が、何時間も続くことが特徴です。近年は強風による被害も多く、外出前に確認するなど注意が必要です。

雨の危険度	やや強い雨 1時間に10～20mm ザーザーと降る	強い雨 1時間に20～30mm どしゃ降り	激しい雨 1時間に30～50mm バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 1時間に50～80mm 滝のように降る(ゴゴーと降り続く)	猛烈な雨 1時間に80mm以上 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
	→ 危険度大				
風の危険度	やや強い風 10～15m/秒 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	強い風 15～20m/秒 転倒する人も出る。看板やトタン板が外れ始める。高所での作業は極めて危険。	非常に強い風 20～25m/秒 つかまっていけないと立ってられない。飛来物で負傷するおそれがある。	非常に強い風 25～30m/秒 屋外での行動は極めて危険。	猛烈な風 30m/秒～
	→ 危険度大				

！ 警戒レベルと各情報の対応

大雨や台風などで災害の可能性がある場合、段階的に気象情報や河川情報が発表され、町から避難情報が出されます。警戒レベルに応じた避難行動を確認し、自分にあてはめて避難のタイミングを考えておくことが大切です。

警戒レベル	取るべき行動	避難情報	雨の情報	川の情報
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報	氾濫発生情報
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難！〉 ~~~~~				
<b>警戒レベル4</b>	危険な場所から 全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
<b>警戒レベル3</b>	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨・洪水警報	氾濫警戒情報
<b>警戒レベル2</b>	自らの 避難行動を確認	—	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報
<b>警戒レベル1</b>	災害への 心構えを高める	—	早期注意情報	—

*避難情報は、気象情報以外の様々な情報を踏まえて危険と思われる地域に発令するため、気象情報の発表とタイミングが必ずしも同時になるわけではありません。

## ！ 避難時の心得

**足元の溝などに注意**

氾濫した水は濁っているので地面が見えません。長い棒を杖代わりにして確認しながら、できるだけ道路の真ん中を歩きましょう。

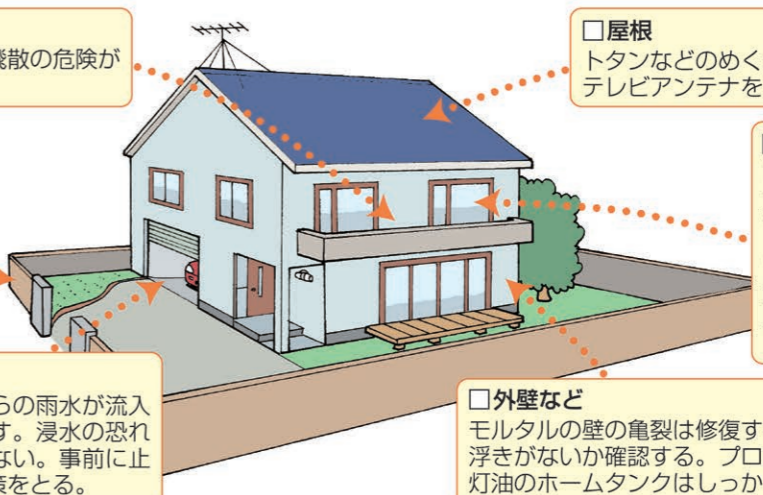


**子どもはロープでつなぐ**

もしものことを考えて、子どもと大人の体をロープでつないでおきましょう。



## ！ 風水害に備える



- ベランダ**  
鉢植えや物干しざおなど、飛散の危険が高いものは屋内に片づける。
- 屋根**  
トタンなどのめくれ、はがれを点検しテレビアンテナをしっかりと固定する。
- 窓ガラス**  
ひび割れ、窓枠のがたつきがないか確認する。また、強風による飛来物などに備え、外側から板でふさぐなどの処置をする。
- ブロック塀**  
ひび割れや破損箇所は修理する。
- 半地下、地下車庫**  
半地下や地下車庫は道路からの雨水が流入し、浸水することがあります。浸水の恐れがある時は、地下室に入らない。事前に止水板や土のう等で浸水防止策をとる。
- 外壁など**  
モルタルの壁の亀裂は修復する。サイディングの浮きがないか確認する。プロパンガスのボンベや灯油のホームタンクはしっかりと固定する。

# 土砂災害

## ！ 土砂災害の種類と前兆現象

大雨などが引き金となり、土石流、地すべり、がけ崩れなどが起こり、住民の生命、身体、財産などに被害が生じることがあります。前兆現象を発見したら、足寄町役場、警察署、消防署などに通報してください。

**こんな「前兆現象」に注意！**

- 川の流が濁り流木が混ざり始める
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 地面にひび割れができる
- 山鳴りがする
- 斜面から水がふき出す
- 小石がバラバラ落ちてくる

**土砂災害の種類**

- 土石流**  
谷や斜面にたまった土砂などが、雨による水と一緒に一気に流れ出す現象。
- 地すべり**  
地中の粘土層などの滑りやすい層が、地下水などの影響でゆっくり動き出す現象。
- がけ崩れ**  
地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象。